

【取組内容①】 デジタルツールを活用し、クラウド上で学習支援ソフトによるグループで課題の共同作成する工夫

2年生「数学科と技術科の教科横断的な授業の実践を通して、身近な電化製品の消費電力量と使用時間との関係を考察する授業」

内容：『エネルギー変換における一次関数の利用』

技術分野から電気エネルギーは熱エネルギーなどの様々なエネルギーに変換できることを学ぶ。災害時にはEV車のバッテリーが非常電源になることを確認する。

【課題】EV車のバッテリーで4日間生活するために、複数の家電製品の中から目的をもって災害時に使う物を選び、電力消費の計画を立てよう。

グループで、どの製品を使いたいのか、何時間までなら使用可能か等を、デジタルツールを使ってグラフを作成したり、使いたい時間での電力量を計算したりするなどして考察した。意見をシートにまとめ、計画を立てた過程を発表した。

